岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川 御手洗川水系 御手洗川支川18通常砂防事業に伴う測量設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R1-Bor.No.3	調査位置	堰堤右岸袖部	北緯	34° 21′ 40.2113″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	令和元年 9月26日～ 令和元年 9月27日	東経	132° 16′ 20.5944″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 321.68m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	35° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B58型
					エンジン：ヤンマーNFD-12型　ポンプ：BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
	320.78	0.90		粘土混じり砂	暗褐～茶褐								上部木根混入。細砂～中砂を主体とする。粘土分を全体的に10%程度混入する。
1	320.38	1.30	GS-B	玉石混じり砂礫	灰褐								φ10～30mmの亜角礫を主体とする。中砂～粗砂を10～20%程度含む。GL-1.00～1.30mでコア長30cm程度の玉石を含む。
2			Gr	花崗岩	淡茶褐	w5	h4	E	VI	d	DL	0 [0] (100)	
3											DM	0 [0] (100)	DL級主体で砂質土状コアを呈する。部分的に固結箇所があるが指圧で容易に崩れる。
											DL	0 [0] (100)	
4											DM		
	317.18	4.50									DL	0 [0] (100)	
5			Gr	花崗岩	淡茶褐		h3	D			DM	0 [0] (100)	DM級で砂質土状～礫状コアを呈する。部分的に粘土化している箇所が見られる。
	315.98	5.70											
6			Gr	花崗岩	灰褐	w4			V		DH	0 [0] (100)	DH級。細礫状～角礫状コアを呈する。部分的に未風化部を礫状に残存する。ハンマー軽打で容易に崩れる。
7												0 [0] (100)	
8												0 [0] (100)	
9	312.68	9.00											
10													
11													
12													
13													
14													

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.45	9		
	1.75	300		
26	2.15	26		
	2.45	300		
6	3.15	6		
	3.45	300		
19	4.15	19		
	4.45	300		
40	5.15	40		
	5.45	300		
50以上	6.00	50	90	
	6.09	90		
50以上	7.00	50	80	
	7.08	80		
50以上	8.00	50	60	
	8.06	60		
50以上	9.00	50	30	
	9.03	30		

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	300		シングル/M	10	50	0	W1 0	0
	120		ダブル/D	15	150	0	W5 5	5
	200	66/ケーシング	ダブル/M	15	50	0	W2 15	15
9/26	150	66	ダブル/M	30	70	0	W2 20	20
9/27								

原位置試験　室内試験